



PARTNERS

TITLE PARTNER



GOLD PARTNER/GRASS ROOTS PARTNER



SILVER PARTNER



OFFICIAL SUPPLIER



OFFICIAL BROADCASTING PARTNER



OFFICIAL EQUIPMENT PARTNER



OFFICIAL TICKETING PARTNER



WE LEAGUE

PROFILE BOOK 2021-22

公益社団法人 日本女子プロサッカーリーグ

Japan Women's Empowerment
Professional Football League

©WE LEAGUE
2022年4月1日発行

理念
女子サッカー・スポーツを通じて、
夢や生き方の多様性にあふれ、
一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する。

ビジョン
世界一の女子サッカーを。
世界一アクティブな女性コミュニティへ。
世界一のリーグ価値を。

WEリーガークレド

WE PROMISE

- ・私たちは、自由に夢や憧れを抱ける未来をつくる。
- ・私たちは、共にワクワクする未来をつくる
- ・私たちは、互いを尊重し、愛でつなげる未来をつくる。

みんなが主人公になるためにプレーする。

●WE LEAGUE

世界一の 女子サッカーを目指して

2021年9月、日本初の女子プロサッカーリーグである「WEリーグ」が開幕しました。WEリーグ創設にあたり、ご協力いただいた全ての皆さまに改めて感謝を申し上げます。日本サッカー史に刻まれたWEリーグという名のこのリーグを、これからさらに大きく育てていきます。

今から11年前、なでしこジャパン(日本女子代表)がFIFA女子ワールドカップで優勝を成し遂げました。苦境に立たされてもあきらめずにボールを追い続ける選手たちの姿は、当時、東日本大震災で悲しみの底にあった日本に希望と活力を与えました。2014年にはU-17年代が世界の頂点に立ち、続いて2018年にはU-20年代がワールドカップで優勝。世界で初めて全世代制覇の偉業を達成しました。多くの方々のご尽力と深い愛情によって創り上げられてきた日本の女子サッカーは、今や世界中からリスペクトされる存在です。

今年から国体に少年女子(U-16)の部が創設され、これまで課題であった中学生年代の普及・強化にも期待が持たれます。そして、WEリーグの誕生により、サッカー少女たちは将来の夢として「プロサッカー選手」を目指すことができるようになりました。U-12からプロ化したトップリーグまで、様々な活動や改革が進み、日本女子サッカーは大きな変革期を迎えています。今このときが、女子サッカーを大きく発展させるとても大切なときです。そして、WEリーグは単なるプロサッカーリーグではなく、社会課題にも主体的に取り組んでいくことを表明しています。「女子

サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する」という理念のもと、ジェンダーギャップ指数120位の日本に女子プロスポーツを根付かせ、スポーツ界から多様性社会やジェンダー平等を目指していきます。

WEリーグのミッションは、日本女子サッカー界の発展を牽引すること、そしてここで生まれるパワーを社会へも波及させ、皆をエンパワーする存在になることです。選手やクラブとともに、WEリーグに関わる全員がその覚悟を持って邁進していきます。



公益社団法人 日本女子プロサッカーリーグ (WEリーグ)
チェア 岡島喜久子

プロフィール 岡島 喜久子(おかじまきこ)
東京都生まれ。現在、アメリカのメリーランド州に在住。2020年7月より、WEリーグの初代チェア(代表理事)を務める。1972年、中学校の男子サッカー部に入学し、女子クラブFCジナンに入会。1983年、日本女子代表に選出。1984年には日本女子サッカー連盟の事務局長に就任し、1989年に引退。1983年早稲田大学卒業後、ケミカルバンク(現 JPモルガン・チェース銀行)に入社。国際証券(現 三菱UFJモルガン・スタンレー証券)等を経て、2004年～2019年まで米・メリルリンチ勤務。
プロフィール詳細はこちら→



WEリーグ開幕宣言

日本の女子スポーツの新しいページが本日ひらきます。
Women Empowermentという名前で、
日本のジェンダー平等を前に進める覚悟のリーグです。

世界一の女子サッカーと、
世界一の女性コミュニティの実現に向けて。

そして、多様な生き方と夢が生まれる社会をめざして。

みんなが主人公になるために、
WEリーグがステージとなります。

2021年9月12日、WEリーグの開幕を宣言します。

WEリーグチェア 岡島喜久子

About WE LEAGUE

WOMEN EMPOWERMENT LEAGUE

わたしたちみんな「WE」が主人公として活躍する社会を目指して

「これは新しい日本のキックオフだ」

この合言葉を胸に、2020年7月1日、「WEリーグ」は設立されました。

正式名称は「Women Empowerment League」。リーグを核に関わるわたしたちみんな(WE)が主人公として活躍する社会を目指した日本初の女子プロサッカーリーグの誕生です。

そして、2021年9月12日。プレーでも、社会への貢献でも、世界一の女子サッカーリーグへ邁進する「Yogibo WEリーグ」が開幕。日本女子サッカーの頂点を目指す熱戦が繰り広げられています。

●設立の意義

- 1 日本の女性活躍社会を牽引する。
- 2 日本に「女性プロスポーツ」を根付かせる。
- 3 日本の女子サッカーの発展に貢献する。
- 4 なでしこジャパンを再び世界一にする。

●名称とロゴ

WEリーグはWomen Empowerment Leagueの略称です。この名称には日本に“女子プロサッカー選手”という職業が確立され、リーグを核に関わるわたしたちみんな(WE)が主人公として活躍する社会を目指す、という思いが込められています。



ブランドモチーフの「●」(ドット)は、「サッカーの躍動感」「新たなつながり」「これからの日本」を表しています。

■理念とビジョン

WEリーグは、「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する」ことを理念に掲げています。この理念は、3つのビジョンによって支えられています。サッカー事業は「世界一の女子サッカー」を、社会事業は「世界一の女性コミュニティ」を目指し、その両輪を支える事業基盤を整え「世界一のリーグ価値」を生み出していくという構図です。

サッカー事業では、リーグ戦の開催を通して、日本女子サッカー界の環境整備や選手の育成・強化などに取り組み、サッカーを男女ともに楽しめる競技スポーツへと発展させていきます。また、社会事業では、スポーツの枠を超えた様々なステークホルダーとともにコミュニティを形成し、社会課題の解決に向けてアクションを起こしています。それぞれのクラブや選手たちも理念の推進に向けた意思表明を行っており、リーガー一体となって活動していきます。

理念

女子サッカー・スポーツを通じて、
夢や生き方の多様性にあふれ、
一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する。

VISION 1
世界一の女子サッカーを。
(サッカー事業)

VISION 2
世界一アクティブな女性コミュニティへ。
(社会事業)

VISION 3
世界一のリーグ価値を。
(事業基盤)

- ① 世界トップ水準の競技力、選手・スタッフの輩出
- ② 日本全国で女子サッカーの競技力のボトムアップの実現
- ③ 日本各地に女子がサッカーを楽しめる場を広げる

- ① 女性が起点となり、社会全体に前向きな変化を生み出す原動力になる
- ② スポーツの枠を超えて、個人、団体、企業が集まるプラットフォームとなる

- ① 社会面、競技面の発展を支えるリーグ基盤(財政・組織)を確固たるものとする
- ② リーグの本質的価値を事業成果としてあらわす
- ③ 多種多様な働き方を内包した、社会のロールモデルとなる組織を実現する

■沿革

2019年	
7月11日	JFA理事会が、「女子サッカープロリーグ設立構想」「女子新リーグ設立準備室の設置」を承認。
9月12日	女子新リーグ設立準備室およびアドバイザーコミッティのメンバーが決定。室長に、佐々木則夫氏(JFA理事、元日本女子代表監督)が就任。
11月14日	2021年の女子プロリーグ新設がJFA理事会にて決議。
2020年	
6月3日	JFAが日本初の女子プロサッカーリーグ創設を発表、名称は「WEリーグ」。ロゴマーク、参入基準等を公表。
7月1日	一般社団法人日本女子プロサッカーリーグ 設立。
3日	社員総会、理事会を初開催。岡島喜久子氏の代表理事就任を決議、初代チェアに就任。
8月3日	JFAが、女性指導者を対象とした「Associate-Pro(A-Pro)コーチ養成講習会」を開催。WEクラブ監督の要件は、S級もしくはA-Proライセンス保有が条件に。
23日	入会審査選考委員会を設置。
31日	17団体が入会申請。
9月2日	第1回入会審査選考委員会 開催。(全4回:9/2, 17, 30, 10/8)
10月15日	理事会にて、11クラブの入会申請を承認。WEリーグ参入クラブ発表記者会見を開催。
23日	JFA、WEリーグが、国内競技団体で初となる「女性のエンパワーメント原則(WEPs)」への署名を発表。
2021年	
2月1日	JFAが定める「女子プロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」施行。
10日	実行委員会 初開催。
24日	JFAによる「ASEAN女子選手受け入れ支援制度」を発表。
3月8日	国際女性デーに合わせて、11クラブの選手代表者が集まりクレド(行動規範)開発に着手。
24日	「外国籍女子選手受け入れ支援制度」を決議。
4月1日	WEリーグ規約 施行。
15日	「WEリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」を策定。
23日	規律委員会 設置。
24日	2021 WEリーグ プレシーズンマッチ 開幕。(全22試合、~6/19)
6月9日	国際協力機構(JICA)、JFA、Jリーグ、WEリーグが、サッカーを通じた開発途上地域の発展に向けて連携協定を締結。
7月1日	一般社団法人日本女子プロサッカーリーグから、公益社団法人に移行。
5日	WEリーグタイトルパートナー、ブロードキャスティングパートナー発表記者会見開催。株式会社ウェブシャークとWEリーグがタイトルパートナー契約を締結。大会名称が「Yogibo WEリーグ」に決定。DAZNでの「Yogibo WEリーグ」全試合配信を発表。
7日	WEリーガー研修 開催(~9日)
21日	第1回WEリーグ監督フォーラム 開催
8月16日	Yogibo WEリーグに273名の選手を初登録
25日	WEリーガークレド(行動規範)を制定。
9月6日	Yogibo WEリーグ 開幕プレスカンファレンス開催。社会事業「WE ACTION」を発表、キックオフミーティング開催。
8日	WEリーグアンセム『WE PROMISE』を発表。春畑道哉さんが作曲。
12日	Yogibo WEリーグ 開幕。INAC神戸レオネッサ 高瀬愛実選手がWEリーグ初ゴールを記録。(前半4分、第1節I神戸5-0大宮V/ノエビアスタジアム神戸/10:01キックオフ)
10月2日	大宮アルディージャVENTUS カトラー グレイス エリン選手(アメリカ)が外国籍選手初ゴールを記録。(後半43分、第4節 大宮V 1-4 浦和/NACK5スタジアム大宮/14:03 キックオフ)
10日	大宮アルディージャVENTUS 井上綾香選手がWEリーグ初ハットトリックを達成。(第5節 大宮V 4-1 S広島R/NACK5スタジアム大宮/14:03 キックオフ)
11月24日	裁定委員会 設置。
12月14日	第1回WE ACTION MEETING 開催
2022年	
2月26日	Yogibo WEリーグ優勝トロフィー「Women Empowerment Trophy」が完成。制作は菅原工芸硝子。

●WEリーグ参入基準(一部抜粋)

- ・クラブ役職員の50%以上を女性とする(入会から3年以内に達成)
- ・クラブの意思決定に関わる者のうち、少なくとも1人は女性とする
- ・クラブに理念担当者を置くこと
- ・プロA契約選手5名以上およびプロB/C契約選手[最低年俸270万円(消費税別)]10名以上と契約を締結すること
- ・トップチームの監督は、JFA S級(またはS級相当)、JFA A-Proライセンスの指導者資格を有する者
- ・トップチーム、アカデミーチームともにコーチングスタッフ(監督またはコーチ)の中に女性指導者1名以上を含むこと
- ・U-18、U-15、U-12チームを保有すること。ただし、U-18チームの保有は入会より原則3年以内に達成すること。
- ・スタジアムは椅子席で5,000名以上収容可能な施設であること
- ・スタジアムに授乳室および託児施設を設置すること

●WEリーガークレド(行動規範)を制定

2021年3月8日の国際女性デーに合わせて11クラブの選手たちと岡島チェアが集まり、WEリーガークレド(行動規範)開発のためのミーティングがキックオフしました。全3回の全体ミーティングや全選手参加型のクラブ別ミーティングを行い、選手たちの言葉から「WE PROMISE みんなが主人公になるためにプレーする」というクレドが誕生しました。

WEリーグが掲げる理念を選手たちがひも解き、将来を担う子どもたちやいつも支えてくださるファン・サポーター、地域・社会に対してWEリーガークレドを、今後のプレーや活動で体現していきます。

クレドミーティングの詳細はこちら→



About WE LEAGUE

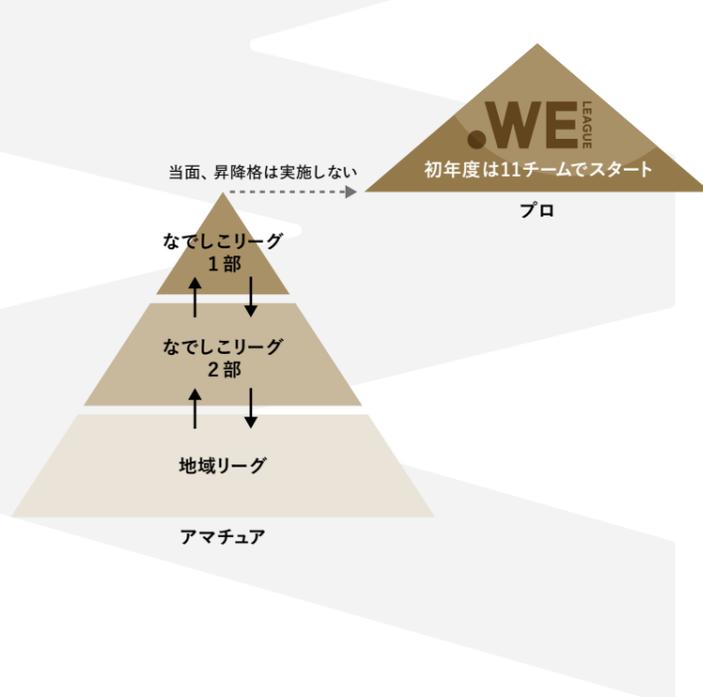
WEリーグの位置づけ

WEリーグは日本サッカー協会(JFA)の加盟団体です。日本女子サッカーのトップリーグであり、現なでしこリーグの上位に位置するリーグです。



女子サッカーリーグの構造

WEリーグは11チームでスタートし、複数年は降格無しのエキスパンション型を取ります。



法人概要

- 法人名称 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ (英語表記) Japan Women's Empowerment Professional Football League
- 略称 WEリーグ (英語表記) WE LEAGUE
- 設立日 2020年7月1日
- 事業年度 7月1日～6月30日
- 所在地 東京都文京区本郷 3-10-15 JFAハウス6F
- チェア 岡島喜久子
- 社員総会

【WEリーグ会員】

- 株式会社マイナビフットボールクラブ
- 浦和レッドダイヤモンズ株式会社
- エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニティ株式会社
- 株式会社エルフェンススポーツクラブ
- ジェフユナイテッド株式会社
- 東京ヴェルディ株式会社
- 株式会社ノジマステラススポーツクラブ
- 株式会社長野バルセイロ・アスレチッククラブ
- 株式会社アルビレックス新潟レディース
- アイナックフットボールクラブ株式会社
- 株式会社サンフレッチェ広島

【特別会員】

- 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ
- 理事長(チェア) 岡島喜久子

● 理事会

- 【理事長】 岡島喜久子
- 【副理事長】 岩上和道
- 【専務理事】 野仲賢勝
- 【理事】 立花洋一、安本卓史、今井純子、大内智重子、大江修子、奥田泰久、小林美由紀、佐伯夕利子、佐々木則夫、手塚貴子、播戸竜二、村松邦子、矢野喬子、山岸佐知子
- 【監事】 栗山信二、須永功

■ 2021年度予算

(単位:千円)

項目	予算額
経常収益	1,250,000
経常費用	1,249,455

■ 主な活動

- ① 女子プロサッカーの試合の主催 WEリーグ11クラブリーグ戦 全110試合
- ② 公式記録の作成、管理及び運用 公式試合、公式行事の記録や映像・静止画像の作成・収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像権等の管理
- ③ 女子プロサッカーに関する諸規約の制定
- ④ 女子プロサッカーの選手、監督及び審判等の養成、資格認定及び登録
- ⑤ 放送等を通じた女子プロサッカーの試合の広報普及
- ⑥ サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導
- ⑦ サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施
- ⑧ サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助
- ⑨ 機関紙の発行等を通じた女子サッカーに関する広報普及
- ⑩ 女性活躍推進をはじめとする社会課題に関するイベントや研修の実施
- ⑪ その他目的を達成するために必要な事業 女子プロサッカーに関するパートナー、スポンサー及びサプライヤーとのリレーション構築等

■ 提携組織、参加事業

● 「女性のエンパワーメント原則 (WEPs)」に署名

2020年10月23日、JFAとWEリーグは、国連グローバル・コンパクトとUN Womenが共同で作成した「女性のエンパワーメント原則 (Women's Empowerment Principles / WEPs)」に署名したことを発表しました。日本国内の競技団体の参加はJFAとWEリーグが初めてであり、WEPsに参加することによって女性が力を発揮できる労働環境・社会環境を整備することへの強い意思を示しました。

また、WEPsで示されている7つの原則に基づいた活動を可視化し、今後の改善につなげていくことを目的に、JFAと協同して年次レポートを作成しました。



● JFA / WEリーグ女性リーダーシッププログラムを実施

2021年6月26日～10月24日の計8日間にわたり、JFAとWEリーグの共催で、「2021年度JFA / WEリーグ女性リーダーシッププログラム」を実施しました。同プログラムはサッカー界・スポーツ界をけん引する女性役員や経営人材を育成することを目的としています。9地域 / 47都道府県サッカー協会やWEクラブ、これからWEリーグ参入を目指すクラブの役員、経営者候補などを対象に集合研修を実施しています。現在、経営者として活躍されている方をメンターとして起用したキャリア相談やディスカッション、課題の履修やオンラインビジネス講座の提供による学びの機会を創出しています。

● 国際協力機構 (JICA)、JFA、Jリーグ、WEリーグによるサッカーを通じた開発途上地域の発展に向けた連携協定

2021年6月9日、独立行政法人国際協力機構 (「JICA」) とJFA、Jリーグ、WEリーグの四者で開発途上地域への国際協力の効果的な実施とスポーツを通じた国際協力の一層の発展を目的に連携協定を締結しました。

連携協定事業の一環として、開発途上地域におけるサッカーを通じた国際協力やJリーグ及びWEリーグとJICA国内機関との地域連携などの活動を行います。

● スペインプロリーグ「ラ・リーガ」、なでしこリーグとのパートナーシップ協定

2022年3月にWEリーグは、スペインのプロフェッショナルサッカーリーグ「ラ・リーガ」、なでしこリーグとの三者で、パートナーシップ協定を締結しました。これがWEリーグ初の海外リーグとの協定締結となります。かつてなでしこリーグとラ・リーガ間で締結されていた協定を、WEリーグ発足に伴い、なでしこリーグも含めた三者間協定として新たに結ぶものです。

世界各国でサッカーの普及、促進に寄与するラ・リーガと協定締結することで、両国の女子サッカーのさらなる展開、日本とスペイン間で知識や経験の共有による様々な交流を図っていきます。



About WE Clubs

日本女子サッカー発展の拠点となるWEクラブ

記念すべき開幕シーズンは、北は仙台、南は広島まで、9都県から11クラブがWEリーグに入会しました。内訳は、なでしこリーグから9クラブ、女子チーム新設が2クラブです。それまで男子チームのみを保有していた大宮アルディージャとサンフレッチェ広島は、WEリーグ設立をきっかけに女子チームを新設しました。

各クラブは、WEリーグ参入基準に則り、15名以上の選手たちとプロ契約を結んでいるほか、アカデミーチームの創設を進めるなど、日本女子サッカーの強化・育成・普及を牽引する存在です。そして、WEリーグの理念である多様性社会の実現に向けて、理念へのコミットメントを記したWEステイメントを策定し、地域コミュニティの核として「WE ACTION DAY」の活動など具体的な施策に取り組んでいます。

WEクラブ一覧 [2021-22シーズン]

- 1 マイナビ仙台レディース
- 2 三菱重工浦和レッズレディース
- 3 大宮アルディージャVENTUS
- 4 ちふれASエルフェン埼玉
- 5 ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
- 6 日テレ・東京ヴェルディベレーザ
- 7 ノジマステラ神奈川相模原
- 8 AC長野パルセイロ・レディース
- 9 アルビレックス新潟レディース
- 10 INAC神戸レオネッサ
- 11 サンフレッチェ広島レジーナ




ジェフユナイテッド市原・千葉レディース

- 1 千葉L
- 2 フクダ電子アリーナ
- 3 千葉県市原市、千葉市
- 4 ジェフユナイテッド株式会社
- 5 代表取締役社長 森本 航
- 6 1992年
- 7 ジェフユナイテッド市原レディースとして2000年にL・リーグに参入。2005年に「ジェフユナイテッド市原・千葉レディース」に名称を変更。
- 8 ジェフユナイテッド市原・千葉レディースは、理念実現のために、真摯・挑戦・つなぐ・クラブと地域・ダイバーシティ・育成・感動の7つのジェフスピリッツを実践します。



日テレ・東京ヴェルディベレーザ

- 1 東京NB
- 2 味の素フィールド西が丘
- 3 東京都北区、板橋区、稲城市、日野市、多摩市、立川市
- 4 東京ヴェルディ株式会社
- 5 代表取締役代行 森本 譲二
- 6 1981年
- 7 1981年、読売サッカークラブの女子チームとして創部。2000年より「日テレ・ベレーザ」、2020シーズンより、「日テレ・東京ヴェルディベレーザ」に名称を変更。
- 8 私たち日テレ・東京ヴェルディベレーザは、WEリーグ理念実現のために、ホームタウンを中心としたエリアで女性活躍社会の実現に向けたワークショップを開催します。



ノジマステラ神奈川相模原

- 1 N相模原
- 2 相模原ギオンスタジアム
- 3 神奈川県、相模原市
- 4 株式会社ノジマステラスポーツクラブ
- 5 代表取締役社長 馬場 正臣 (2022-23シーズンより)
- 6 2012年
- 7 2012年2月、株式会社ノジマの女子サッカー部として「ノジマステラ神奈川」が発足。2014年に「ノジマステラ神奈川相模原」に名称を変更。
- 8 私たちノジマステラ神奈川相模原は、地域に無くてはならない存在となれるよう善きことを行い、地域の幸せに貢献し、理念実現に邁進して参ります。



AC長野パルセイロ・レディース

- 1 AC長野
- 2 長野Uスタジアム
- 3 長野県長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、信濃町、小川村、飯綱町、栄村、佐久市
- 4 株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ
- 5 代表取締役社長 町田 善行
- 6 2010年
- 7 チームの前身は大原学園JaSRA女子サッカークラブ。2009年シーズン終了後に、AC長野パルセイロの女子チームとして移管され、「AC長野パルセイロ・レディース」が誕生。
- 8 AC長野パルセイロは、WEリーグ理念及びクラブ理念推進のため、多様性を理解しみんなが輝けNAGANOの未来実現のため行動します！



マイナビ仙台レディース

- 1 マイ仙台
- 2 ユアテックススタジアム仙台
- 3 宮城県、仙台市
- 4 株式会社マイナビフットボールクラブ
- 5 代表取締役社長 栗井 俊介
- 6 2021年
- 7 2012年、東日本大震災により休部した「東京電力女子サッカー部 マリーゼ」が移管し、「ベガルタ仙台レディース」が発足。2021年、株式会社ベガルタ仙台から株式会社マイナビに経営権を譲渡し「マイナビ仙台レディース」が発足。
- 8 私たちマイナビ仙台レディースは、プロスポーツクラブとしての経営安定化を目指すとともに、「『日本でいちばん、“ひと”が育つクラブ』』というコンセプトに基づき、クラブ運営に関わるスタッフの女性比率を半数以上へ引き上げるべく、採用・育成に注力します。



三菱重工浦和レッズレディース

- 1 浦和
- 2 浦和駒場スタジアム
- 3 埼玉県さいたま市
- 4 浦和レッドダイヤモンズ株式会社
- 5 代表取締役社長 立花 洋一
- 6 2005年
- 7 1980年に誕生した「本太レディース」から1998年に派生した「浦和レイナス」(さいたまレイナス)を引き継ぐ形で2005年に「浦和レッドダイヤモンズレディース」が誕生。2021年より呼称を「三菱重工浦和レッズレディース」に変更。
- 8 私たちは、理念実現のために、世界水準のサッカーを目指し、誰もが誇りと親しみを持つことができ、健全で持続可能なクラブを築いていきます。



大宮アルディージャVENTUS

- 1 大宮V
- 2 NACK5スタジアム大宮
- 3 埼玉県さいたま市
- 4 エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニティ株式会社
- 5 代表取締役社長 佐野 秀彦
- 6 2021年
- 7 2021年、Jリーグの大宮アルディージャが新設した女子チーム。「VENTUS」はラテン語で「風」を意味し、女子サッカー界に新たな「風」を吹き込む、WEリーグで大きな「旋風」を巻き起こすという意味を込めている。
- 8 大宮アルディージャVENTUSは、理念実現のために、地域とともに、新たな“風”を起こします。



ちふれASエルフェン埼玉

- 1 EL埼玉
- 2 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
- 3 埼玉県狭山市、飯能市、日高市、熊谷市
- 4 株式会社エルフェンスポーツクラブ
- 5 代表取締役社長 田村 貢
- 6 2016年
- 7 1975年、狭山市で地域の少女チームとして「アゼリアFC」発足。2016年命名権により「ちふれASエルフェン埼玉」に。
- 8 ちふれASエルフェン埼玉は、理念実現のために、女性の役員・管理職・指導者の育成と登用の積極化を行います。



アルビレックス新潟レディース

- 1 新潟L
- 2 デンカビッグスワンスタジアム、新潟市陸上競技場
- 3 新潟県、新潟市、新発田市、聖籠町
- 4 株式会社アルビレックス新潟レディース
- 5 代表取締役社長 山本 英明
- 6 2002年
- 7 Jリーグ・アルビレックス新潟の女子チームとして2002年に創設。2006年になでしこリーグ1部へ昇格。2019年には、株式会社アルビレックス新潟レディースとして分社独立。
- 8 私たちアルビレックス新潟レディースは、理念実現のために、ピッチの内外を問わず活躍できる人財となり、魅力あふれる新潟づくりに貢献します。



INAC神戸レオネッサ

- 1 神戸
- 2 ノエビアスタジアム神戸
- 3 兵庫県神戸市
- 4 アイナックフットボールクラブ株式会社
- 5 代表取締役社長 安本 卓史
- 6 2001年
- 7 2001年4月に神戸で誕生。2005年にL・リーグ参入1年で1部へ昇格。2009年に現在の「INAC神戸レオネッサ」に改称。
- 8 INAC神戸は、「For The Future」をスローガンとして、日本女子サッカーの発展のためにサッカーを通じて少女たちに夢と希望を与えられる存在となり、WEリーガークレドの実現をめざします。



サンフレッチェ広島レジーナ

- 1 S広島R
- 2 広島広域公園第一球技場
- 3 広島県広島市
- 4 株式会社サンフレッチェ広島
- 5 取締役 久保 雅義
- 6 2021年
- 7 2021年、Jリーグのサンフレッチェ広島が新設した女子チーム。「レジーナ」はイタリア語で「女王」を意味している。
- 8 私たちサンフレッチェ広島レジーナは、理念実現のために男子チーム、女子チーム両方を持っているクラブとして男女関係なく、お互いをRESPECTし、各々がサッカーを通じて地域の皆様と共にサッカー発展に携わる人材を増やしていきます。

- 【凡例】
- 1 略称
 - 2 ホームスタジアム
 - 3 ホームタウン
 - 4 法人名
 - 5 実行委員
 - 6 チーム創設年
 - 7 クラブの変遷
 - 8 WE STATEMENT(※)

※クラブのステイメント「WE STATEMENT」の設定
各クラブが理念推進に向けての取り組みを示す、WEステイメントを策定。ステイメントに沿ったWE ACTIONを起こす。

About Yogibo WE LEAGUE

WE LEAGUE 世界一の女子プロサッカーリーグを目指して

開幕シーズンとなる2021-22シーズンは、2021年9月12日に開幕し、2022年5月22日まで、11クラブが参加して全110試合を開催します。なお、WEリーグは、現在国内で唯一「秋春制」を採用しているリーグです。

●大会名称	2021-22 Yogibo WEリーグ [英語表記：2021-22 Yogibo WE LEAGUE]
●主催	公益財団法人日本サッカー協会、 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ
●試合会場	原則ホームクラブのスタジアム
●開催期間	2021年9月12日(日)～2022年5月22日(日)
●参加チーム数	11クラブ
●大会方式	ホーム&アウェイ方式による 2回戦総当たりリーグ戦
●試合数	110試合(全22節)
●開催概要	90分間(前後半各45分)の試合を行い、勝敗が 決しない場合は引き分けとする。 ・勝点 ・年間順位の決定
●表彰	優勝：賞金2,000万円 Women Empowerment Trophy 2位：賞金1,000万円 3位：賞金 500万円
●放映	DAZNおよび各クラブホームタウンのテレビ局

年間スケジュールについて

- 2021 4 ●2021 WEリーグプレシーズンマッチ開幕
- 6 ●2021 WEリーグプレシーズンマッチ閉幕
- 9 ●2021-22 WE LEAGUE シーズン開幕
- 11 ◎皇后杯 JFA 第43回全日本女子サッカー選手権大会開幕(1回戦)
◎代表活動
- 12 ●2021-22 Yogibo WEリーグウインターブレイク(12月～2月)
◎皇后杯 2回戦～準々決勝(WEクラブは4回戦より出場)
◎代表活動
- 2022 1 ◎皇后杯 準決勝
◎代表活動
- 2 ◎皇后杯 決勝
◎代表活動
- 3 ●2021-22 Yogibo WEリーグ再開
- 4 ◎代表活動
- 5 ●2021-22 Yogibo WEリーグ閉幕
- 6 ●WEリーグアウォーズ

●大会タイトルパートナーについて

2021年7月、「Yogibo(ヨギボー)」ブランドの家具、ピーズンファなどを展開する株式会社ウェブシャーク(本社：大阪府大阪市、代表取締役社長 木村誠司)と2021-22シーズンから2022-23シーズンまでの2シーズンにおいて、「WEリーグタイトルパートナー契約」を締結しました。

これに伴い、WEリーグは同社の主力製品名を冠とした「Yogibo WEリーグ」として開催しています。



2021年9月6日の開幕会見で、大会タイトルマークとともに記念撮影をする岡島チェア

●放映について

WEリーグは、2021-22シーズンから2028-29シーズンまでの8シーズンにわたって、スポーツ専門ライブストリーミングサービスを提供するDAZNとオフィシャルブロードキャストパートナー契約を締結しました。

これに伴い、Yogibo WEリーグはDAZNで配信されるほか、一定数の試合をDAZN YouTubeチャンネルにて無料で配信しています。また、試合によっては各クラブホームタウンの地元テレビ局等でも放送されます。

なお、DAZNでのライブ配信映像はWEリーグ公式映像としてWEリーグが著作権を持って制作します。公式映像はDAZNでの配信のほか広報活動や競技力の向上などに活用しています。

●Yogibo WEリーグ 優勝トロフィー「Women Empowerment Trophy」

Yogibo WEリーグの王者に贈られる優勝トロフィーは、女性の障壁として例えられる「ガラスの天井」から着想を得て、私たち自身が壊したガラスからつくられています。

制作は、岡島チェアと世代の異なるWEリーガー3名がそれぞれぶつかってきたガラスの壁をサッカーボールで壊すことから始まりました。壊れたガラスの破片は、菅原工芸硝子株式会社が培ってきた廃棄ガラスのリサイクル技術を活用し、女性職人の手で再度成形されました。ガラスの破片を重ねながら、熱を加えてねじることによって、世界一のリーグを目指すWEリーグの「上昇する力」を表現しています。女性の未来と可能性の象徴として生まれ変わったトロフィーは「Women Empowerment Trophy」(ウーマンエンパワーメントトロフィー)と名付けました。



●WEリーグアンセム「WE PROMISE」

2021年9月のYogibo WEリーグ開幕に合わせて、選手入場やセレモニーなどで使用するWEリーグアンセムを制作しました。

作曲は日本のサッカーファンに長く愛されるJリーグアンセム「J's THEME (Jのテーマ)」を手がけた春畑道哉さん。タイトルはWEリーガークレド(行動規範)と同じく、「WE PROMISE」と名付けられました。

このアンセムを聴くことで、選手たちが未来に向けて誓った“約束”を思い出してピッチに向かってほしい、という願いが込められています。



●選手について

●女子プロサッカー選手契約制度

JFAは、WEリーグ設立に伴い、女子プロリーグや選手に対応するために「女子プロサッカー選手の契約、登録及び移籍に関する規則」を新設。本規則は、男子同様に統一契約制度(プロA～C契約に基づく制度)が設けられたほか、クラブでの育成促進を目的にトレーニング補償金制度が導入されました。また、女性特有のライフイベントである妊娠・出産への配慮として、活動再開時は登録ウインドー外でも登録可能等の内容も盛り込まれました。

●外国籍、ASEAN選手受け入れ支援制度

WEリーグでは、日本女子サッカーの強化を目的に「外国籍女子選手受け入れ支援制度」および「ASEAN女子選手受け入れ支援制度」を導入しています。FIFAランキング上位国における代表経験や、ASEAN加盟の国籍保持などの条件を満たした選手とプロ契約を締結した場合に、WEリーグもしくはJFAから補助金を交付しています。2021-22シーズンは、6カ国7名の選手が登録。この制度はアジアやASEAN諸国の女子サッカーを強化・育成するという目的も兼ねています。フィリピン女子代表は、WEリーグに所属する選手が活躍し、史上初のワールドカップ出場を果たしました。



●WEリーガー研修を開催

Yogibo WEリーグの開幕に先立ち、WEリーグの選手全員を集めた研修会を2021年7月7日～9日の3日間にかけてオンラインで行いました。元Jリーガーの中村憲剛さんと播戸竜二さん(WEリーグ理事)による「プロサッカー選手としての心得」や、メディア対応、インテグリティ、性の多様性などプロアスリートとして必要なことを学びました。

WEリーガー研修の詳細はこちら→



●X-girlがクラブにユニフォームを提供

WEリーグは、株式会社ピーズインターナショナル(本社：東京都目黒区、代表取締役社長 西方雄作)とオフィシャルサプライヤー契約を締結しました。2021-22シーズンは7チームが同社のレディースストリートウェアブランド「X-girl」のユニフォームを着用してYogibo WEリーグに参加しています。

WEリーグの理念と、X-girlの「GIRL'S MOVEMENT」を体現する7チームのユニフォームデザインには、『人と違うことを恐れない。ファッションも、夢も、自分らしい個性を放ちながら生きていく。一人一人が自分の個性を愛し、自分らしい選択を誇ることを応援する』という願いが込められています。

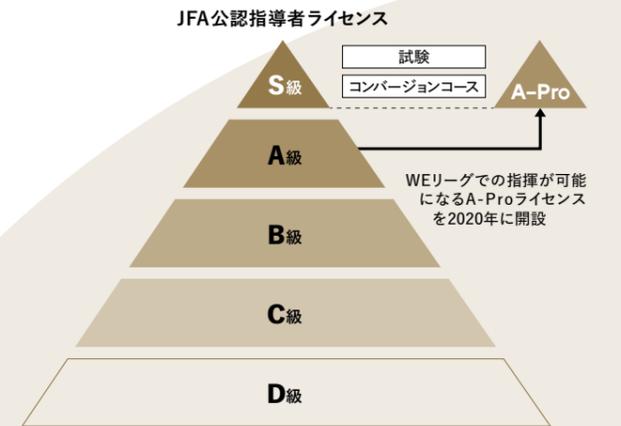


●指導者について

●女性指導者向けに「A-Proライセンス」を新設

JFAは、女性指導者を対象に、AFC-Pro基準の新たなライセンスとして「Associate-Pro (A-Pro) ライセンス」を2020年より限定的に開設しました。保有者はWEリーグでの指揮が可能で、初年度は、13名が受講しました。

A-Proライセンスの位置づけ



全体の割合 女性競技人口…5.8% 女性S級コーチ…1.6%

●WEリーグ監督フォーラムの開催

WEクラブの監督や小野剛WEリーグテクニカルアドバイザー兼JFA技術副委員長と定期的に「WEリーグ監督フォーラム」を開催しています。

シーズンの振り返り、データに基づいたプレーの検証、技術面、フィジカル面などの改善提案など、サッカーのレベル向上を目的とした分析、情報交換を行っています。

世界一のリーグを目指すという共通の目標のもと、「Rivals & Fellows 私たちはライバルであり、仲間だ」を合言葉に、クラブ、チームの垣根を超えた活発なディスカッションが行われています。

About WE ACTION

WE ACTION

WEリーグは、選手やクラブ、パートナー企業など多様なステークホルダーと共に、WEリーグの理念にある多様性社会の実現に向けた社会事業活動を「WE ACTION」として取り組んでいます。日本ならではの社会課題を解決していくことを目指して、私たちみんな(WE)で行動(ACTION)を起こしていきます。



WE ACTION

【WE ACTION ロゴについて】
WEリーグのWが渦の中心にあって、周囲に波紋が広がる様子を表しています。

WEリーグがハブとなる、コレクティブインパクトチームの編成

サッカー事業のパートナー構造は、タイトルパートナーを頂点とするピラミッド型構造です。その一方で、WE ACTIONの事業構造は、各団体がフラットに横につながる輪のような形「コレクティブインパクト」の構造をベースにしています。

WE ACTIONではリーグを中心に、クラブ・パートナー企業・スポーツ界・自治体・公的機関・経済界・メディアなど、あらゆるジャンルのプレーヤーがフラットな構造でつながることで、1社では解決できない大きな社会課題を共同で解決していきます。

WE ACTIONの構図 [コレクティブインパクト構造]



参考：WEリーグパートナー構図 [ピラミッド型]



WE ACTION MEETINGの概要

●社会課題の発見とリスト化、そして課題の解決へ。
WE ACTIONには、選手、リーグ、クラブ、そしてWEリーグパートナーやメディアが参加し、社会課題解決を事業としている団体などと連携しながら、様々な社会課題の解決に取り組んでいます。WE ACTION初年度の2021年度は、「WE ACTION MEETING」の実施により、社会課題の発見とリスト化、課題解決に向けたプレストなどを行い、2年目となる2022年以降は、具体的な活動に移行していきます。



WE ACTION MEETINGの開催

WEリーグ各クラブの理念推進担当者、WEリーグパートナー、メディア、WEリーグ担当が集まり、計3回のWE ACTION MEETINGを行いました。第1回目の2021年12月14日は、社会および身近に感じるジェンダー課題の共有、1月18日に開催された第2回目は選手からのジェンダー課題が発表されました。「日本の女子の自己肯定感が低すぎる問題」「大人がバイアスを育てる問題」「女性は10代でスポーツをやめちゃう問題」「サッカー選手の年棒や待遇、男性の方が優位問題」「チームの呼び名問題」などが挙げられ、第3回目(2月22日)には、1回目と2回目が出た課題に対する解決のアイデアプレストが行われ、具体的なアクションについてディスカッションしました。WE ACTION MEETINGの様子はこちら→



WEリーグパートナーの役割

WEリーグを支えてくださるパートナー企業の皆様にも、WE ACTIONにご参加いただき、様々な社会課題の解決に向けた取り組みにご協力いただいています。

WE ACTION MEETINGへの参加を通じた社会課題のリスト化だけでなく、具体的な活動事例も生まれています。

特に、WEリーグタイトルパートナーの(株)ウェブシャークとは、主力製品でリーグタイトルにもなっている「Yogibo」を活用したセンサリールーム(※)をWEリーグの試合会場に設置するなど、具体的な取り組みが進んでいます。



◀INAC神戸レオネッサのホームスタジアムであるノエビアスタジアム神戸に常設されたセンサリールーム

※「センサリールーム」とは、聴覚・視覚など感覚過敏の症状がある人やその家族が安心して過ごせる部屋のことです。大きな音や眩しい光、人混みなどが苦手な方でも落ち着いた環境でスポーツ観戦を楽しむことができます。



WE ACTION DAY

シーズン中、試合のない日は理念推進活動を行う「WE ACTION DAY」とし、シーズンを通じて1クラブあたり2回の「WE ACTION DAY」が設定されています。

「WE ACTION DAY」では、クラブや地域の特性を生かしながら様々な活動を行っています。



About Partnership

パートナーシップについて

WEリーグは、リーグの理念に賛同した様々な企業の皆様に支えられながら、リーグ運営のみならず理念の具現化に取り組んでいます。

■協賛趣旨（一部抜粋）

■タイトルパートナー

yogibo

株式会社ウェブシャーク [Yogibo]
WEリーグクラブを中心に、センサリールームの常設化を通して「ストレスのない社会」を実現したい

■ゴールドパートナー / グラスルーツパートナー

DAIHATSU

ダイハツ工業株式会社
販売会社とともに、全国津々浦々で女子サッカーを通じて子どもたちの夢や応援する親御さんに寄り添い、草の根活動に取り組みたい

■シルバートナー

Plenus

株式会社プレナス
「ほっともっと」「やよい軒」の運営において多くの女性に支えられているプレナスは、もっと多くの女性が活躍できる社会の実現を目指すとともに、世の中のがんばる女性を応援したい

AsahiKASEI
旭化成ホームプロダクツ

旭化成ホームプロダクツ株式会社
サステナビリティ視点での情報発信に取り組む（時短テクニックで仕事と家事の両立を支援し、男女共同参画社会の実現に貢献したい）

QttO

レキットベンキナー・ジャパン株式会社 [着圧ソックス「メディキュット」]
WEリーガーをはじめ、全ての女性の脚をサポートすることで、より健康かつ自信を持ってアクティブな日々を過ごせるよう支えていきたい

PERSOL

パーソルホールディングス株式会社 / パーソルテンプスタッフ株式会社 / パーソルキャリア株式会社
女性アスリートの柔軟な多様なはたらき方・キャリア形成を支援、また「WEリーグ」に関わる選手・スタッフへのキャリア支援を通じ、女性のさらなる活躍の場の拡大への貢献とともに「はたらいて、笑おう。」の実現を推進したい

TREホールディングス

TREホールディングス株式会社
SDGsのうち特にジェンダー平等と女性の活躍を主眼として発足したWEリーグの理念に共鳴し、これをサポート、コラボレーションすることで、当社グループ内外のジェンダー平等とSDGsの取り組みを推進する

オフィシャルサプライヤー

x-girl

株式会社シーズインターナショナル [X-girl]
選択肢の多様化が進む中、X-girlはWEリーグと一緒に現代の若い女性が自分らしく生きるための「GIRL'S MOVEMENT」を起こす

■オフィシャルブロードキャスティングパートナー

DAZN

DAZN Japan Investment 合同会社
DAZN並びにDAZNの持つ360度のあらゆるチャンネルで女子サッカー・女子スポーツの魅力伝えていきたい。スポーツを文化に、そしてスポーツの力でより豊かな社会を築く

■オフィシャルエクイップメントパートナー

molten
For the real game

株式会社モルテン

びあ

びあ株式会社

各社のアクティビティ

▶ WEリーグオフィシャルパートナー協力のもと、各クラブで国際女性デーに合わせて様々な施策を展開



【パーソルグループ】多様な職業を紹介するドキュメンタリーの制作



【ダイハツ工業(株)】ダイハツガールズサッカークリニックの開催（第30回全日本高等学校女子サッカー選手権大会）



【旭化成ホームプロダクツ(株)】試合会場でのサンプリング



【(株)プレナス】なでしこリーグWEリーグ応援ポスターを店舗に掲示

